

れんごう中越地協

第804号2013.11.21
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



第16回連合中越地協幹事会

定期総会に向けて当面の活動審議

10月期の活動報告と総会役割分担など11月期の活動を決定

連合中越地協は総会に向けて最後となる第16回地協幹事会を11月8日(金)18時30分から開催した。幹事会では、第15回幹事会以降の報告を承認し、定期総会役割分担をはじめ当面の活動を決定した。

幹事会開催にあたりを訪れる機会があった。矢島議長は「先の連合新潟大会で役員体制を含め決定した。産別の方の内7割はここを出ようという思いがあった活動として東北被災地



割がこのままで良いと思っている実態を知った。コミュニケーションが機能していないという課題があるようだ。NPも思い通りにならず、ハードではなくソフト面で人材やニーズ等へ産別として

自立した持続可能な地域社会創造事業・地域おこしセミナー

(一財)新潟県勤労者福祉厚生財団 荻ノ島集落で茅葺家屋を核に地域価値の向上プロジェクトを

この事業は、財団助成事業の中で、今年度新たに開始した自立した持続可能な地域社会創造事業の1つで40名が集った。セミナー開会にあたり、上村津南町長と江花労働金庫理事長から挨拶が述べられた。早速、先進地報告として柏崎市高柳地区の

成26年度長岡市への市政要望書提出、第1回目となった2013年11月13日(金)長岡市役所1階大会議室において、第16回連合中越地協幹事会を開催した。報告事項では第15回幹事会(10月12日)以降の活動報告として連合新潟定期大会関係、秋の相談ダイヤルキャンペーン街宣や平



既成概念を持たないことで野菜料理を提供するレストラン、未来のふるさとづくりへの挑戦が語られた。続いて、今年度助成を受けている5団体から中間報告があり、第1部を終えた。

厚生労働省の「平成24年度のパワーハラスメント実態調査」における「パワーハラスメント」が発生している職場の特徴を、経験者と未経験者の差でポイント上位を比較すると「残業が多い」「休みが取りにくい」は18.3ポイント、「失敗が許されない」「失敗への許容度が低い」は17.9ポイント、「上司と部下のコミュニケーションが少なく、職場にパワーハラが発生する傾向が何となく理解できます。また、パワーハラの加害者にならないポイントには、仕事の成果が上げられないときに部下の責任にし過ぎない、部下を叱る際には周囲に人がいるかどうか配慮する、指摘は仕事に関することに留め、人間

夜からは場所を変えて交流会が行われ、各団体と実施事業等について情報交換や懇親を十分深めた。今回の参加は、新潟

県労働者福祉協議会からの案内で、ライフサポートセンター(LS C)に寄せられる「地域おこし」をやってみようという「ボランティアをしてみたい」等という長岡パーソナルサポートセンター等と合同研修

この相談は、各事業の相談員が動もすれば自分自身がうつつ気味になり、自分自身を助けるために、自分自身の心のメンテナンスに活かすための研修で、相談支援員やコーディネーターなど実際に相談事業に関わる25名が参加した。CBTは心理・福祉

た相談に情報提供するところから参考となるセミナーで、なおかつLS Cから3名が参加した。ネットワーキングの面からも有効なセミナーであった。

相談支援に活かす「認知行動療法」受講 新潟県労働者福祉協議会(通称県労協)は、パーソナル・サポートセンターとライフサポートセンター、より近いホットラインの相談支援員を対象とした「認知行動療法(CBT)」研修会を11月8日(金)午後1時から高柳地区センターで実施した。

この相談支援分野でも有効性が確認されており、小林奈穂美氏(カウンセラー)から「認知行動療法」の基本的な概念と「CBTの基本理念と主要な技法」と題した講演を受講した。また、講演後には、CBTを使った相談支援事例や自分自身の心のメンテナンスCBTを使った事例発表もあり、今後の相談にあたって有意義な研修会となったようだ。終了後の懇親会でも、相談員が抱えている日常の悩みなどについて意見交換が活発に行われた。

東蔵王2 <<No.129>>



議長

矢島良彦

性まで攻撃しないなどでは進んでいくような問題が顕在化しています。組合で実践的なハラスメント対策を促進することはもちろん、相談窓口になっていく組合員のスキルアップが重要です。そして、何よりも労使で一体的に取り組むことが求められています。▼社会を生きぬく上ではタフではなれません。ハラスメント、メンタルコントロール、ストーリーなど、高度経済成長時代では考えられなかった精神病根が蔓延しています。▼だからこそ、労働組合は、ダイバーシティな働き方を強く訴えてまいります。

サラリーマン川柳(週末の疲れを癒やす 週始め)(なにつくる レトルト見ながら お買い物)(奥様を メニューでお誘い 詫び会見)(ダイエット 思わぬ成功 夢の中)

サラリーマン川柳(紅生姜 おまえも一生わき役か)(出張だ今行けすぐ行けすぐ帰れ)

(いきおくれキャリアウーマンともよばれ)「もうかるよ」言ってるおまえが買ってみろ

ピークカットアクション 21

省エネにつながる21のワザ

日が短くて寒い冬は、暖房や照明の使用時間が多くなり、消費電力が増える可能性があります。特に家庭においては、18:00以降の取り組みが必要!そこで、冬も適合が提案する21個の節電アイデア「ピークカットアクション21」に取り組み、電気を使う時間をみんなで分け合うとともに、生活習慣の見直しにつなげていきましょう。

- エアコン**
 - 1 温度設定を控えめにする(20℃が目安)。
 - 2 使用時に扉やカーテン・ブラインドを閉める。
 - 3 フィルターをこまめに掃除する。
 - 4 こたつなど効率よい部分暖房や、石油/ガスストーブ、湯たんぽなど電力をつかわない器具の活用を心がける。
 - 5 重ね着や線掛けなど、衣類の工夫を心がける。
- 照明**
 - 6 電球の引き換え、照度の調整をする。
 - 7 器具のこまめな掃除で明るさをアップする。
- 冷蔵庫**
 - 8 温度設定を控えめにする(節電設定する)。
 - 9 開いている時間を短くし、余分な開閉はしない。
 - 10 物を詰め込みすぎないようにする。
- テレビ**
 - 11 画面のこまめな掃除で明るさをアップする。
 - 12 ビデオ・DVDやゲーム機器のつけっぱなしに注意する。
- その他**
 - 13 温水洗浄便座の温水・便座の温度設定を控えめにし、使わないときは保温便座のふたを開ける。
 - 14 炊飯は早朝にまどめ炊きをし、保温機能は使用しない。
 - 15 電気式衣類乾燥機は極力使用しない。

みんなでアクション! 冬のピークカット!!

- 電化製品共通**
 - 16 スイッチをこまめに切る。
 - 17 省エネ効果の高い製品への買い換えや、省エネモードやタイマー機能の活用をする。
 - 18 季節によって必要ない機器や、使用頻度の低い機器はコンセントを抜くまたは主電源を切る。
 - 19 スイッチ付きテールタップの活用で、待機電力の削減を心がける。
- 生活行動の工夫**
 - 20 家庭において、特にピークカットが求められる時間帯(18時以降)の電力使用を極力抑える。
*地域ごとの電力事情をご確認ください。
 - 21 家族が同じ部屋で過ごし、消費電力を抑える。



つながろう NIPPON 2013 連合エコライフ21 登録はWebで! http://www.rengo.or.jp/ エコライフ21

連合小千谷支部だより

今回は10月26日(土)に開催致しました労福協主催の「クリーン活動とライフプランセミナー」について報告いたします。



会場は小千谷市の「楽衆館」で行い100名近い参加者がありましたが、台風の影響で天気は雨となり残念ながらクリーン活動は中止となりました。その為、予定を繰り上げて労働金庫小千谷支店の池田支店長よりライフプランセミナーについて1時間程、講義を頂きました。

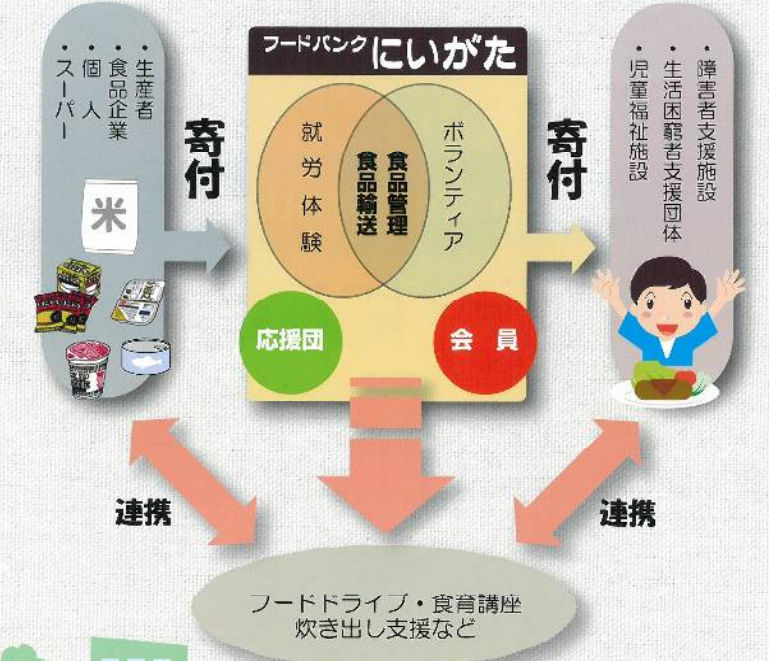
その後は皆でお弁当とトン汁の昼食を食べた後に、豪華景品の当たる好例のビンゴ大会を行い有意義な1日となりました。



今年度の労福協の活動はこれで終わりですが来年度も色々と活動を行ってまいりますので多くの組合員の参加をお願い致します。

「フードバンクにいがた」ってどんなところ?

フードバンクにいがたは、新潟市での活動を中心としつつ、新潟県における食のセーフティネット(安全網)を支えるフードバンクシステムを構築し、市民・行政・企業・福祉施設の皆さんと協同し、食べ物が無駄なく消費され、誰もが食を分かち合える、心豊かな社会づくりを目指しています。



「フードバンクにいがた」に参加するには

①食品の協力

活動に賛同し、食品のご寄付をいただける個人・企業・団体を募集しています。印字ミスや箱崩れ品、まだ食べられるのに眠っている食品はありませんか?

- ①未開封品
- ②産地が特定できる品(米、野菜)
- ③賞味期限が最低2か月以上ある食品
- ④常温保管が可能なもの

②運営協力

フードバンクにいがたは、会員の皆様からの会費で活動をしています。個人会員 年会費 1口 2,000円 団体会員 年会費 1口 10,000円

口座:新潟県労働金庫 新潟南支店 口座番号:普通 5621607
口座名義:フードバンクにいがた 代表 高見 優

③ボランティア協力(フードバンクにいがた応援団)

食品の計量、配達、フードドライブのお手伝い等、お気軽にご参加ください。また、ポスター掲示等の広報活動にご協力いただける団体・個人の方も募集しています。

④フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品品を持ち寄り、食料の確保が困難な方々を支援するための活動です。アメリカで1960年代から始まりました。フードドライブ(food drive)のdriveは、この場合は目的を達成するための運動やキャンペーンを指します。たとえば、お祭りの1コーナーで、リサイクル活動の一環として、人が集まる会議やイベントでフードドライブを実施しませんか? 実施できる場所・企画がありましたら、ぜひフードバンクにいがたにお声掛けください!

食品の寄付、運営協力、各種ご相談は「フードバンクにいがた」までお気軽にご連絡ください。



〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2 勤労福祉会館4階
電話:025-384-4466 fax:025-384-8224
E-mail:fbn@roukyou.gr.jp